

日本社会学理論学会 研究例会

「差異と共生 なにがどう問題なのか？」

日時 2019年3月9日(土) 14:00～17:00

場所 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス 社会学部棟2階社202教室

報告1 大学の境界を問う営みとしての学生運動

—1968～1969年東大闘争から考える

小杉亮子(日本学術振興会特別研究員/京都大学)

専門は社会運動論・社会運動史。主著『東大闘争の語り—社会運動の予示と戦略』(2018年、新曜社)。

報告2 差異こそはすべて

—差別解消法時代における障害者運動の共生戦略

深田耕一郎(女子栄養大学専任講師)

専門は福祉社会学。主著『福祉と贈与—全身性障害者・新田勲と介護者たち』(2013年、生活書院)。

報告3 部落出身であることの「うちあけ」をめぐる相互作用とその外側

齋藤直子(大阪市立大学特任准教授)

専門は家族社会学・部落問題研究。主著『結婚差別の社会学』(2017年、勁草書房)。

討論者

濱西栄司(ノートルダム清心女子大学)
好井裕明(日本大学)

司会

奥村隆(関西学院大学)

問い合わせ: 関西学院大学 社会学部
奥村隆研究室(t-oku@kwansei.ac.jp)
主催: 日本社会学理論学会

入場無料
予約不要